

# 世界遺産登録とモノづくりの氣概

この度、「明治日本の産業革命遺産」が新たにユネスコの世界文化遺産に登録されました。その中には、鹿児島市の集成館事業関連の資産が含まれています。

世界遺産に登録されたということは、世界の人々共通の大切な宝物になつたということです。これまで国内では、屋久島をはじめとする自然遺産が四件、法隆寺地域の仏教建造物をはじめとする文化遺産十四件の合計十八件が世界遺産に登録されましたが、これらはすべて、世界的に「顕著な普遍的価値」を有するものと認められたからです。

「明治日本の産業革命遺産」にはひとつ特徴があります。それは、日本はじめて広範囲の複数の資産を一連のものとして登録したことです。九州・山口の近代化産業遺産に加えて、遠く離れた静岡県伊豆の国市や岩手県釜石市の製鉄関連遺跡も構成資産に入っています。

これは九州・山口の製鉄技術と密接な関係があるとされたからで、資産は全世界の大切な宝物になつたということです。これまで国内では、屋久島をはじめとする自然遺産が四件、法隆寺地域の仏教建造物をはじめとする文化遺産十四件の合計十八件が世界に発信していくことが求められます。

発行日／平成27年10月27日発行通巻34号  
発行者／公益社団法人鹿児島県特産品協会

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 鹿児島県産業会館内 TEL.099-223-9177 FAX.099-227-0768 <http://www.k-p-a.jp>

この度、「明治日本の産業革命遺産」が新たにユネスコの世界文化遺産に登録されました。その中には、鹿児島市の集成館事業関連の資産が含まれています。

世界遺産に登録されたということは、世界の人々共通の大切な宝物になつたということです。これまで国内では、屋久島をはじめとする自然遺産が四件、法隆寺地域の仏教建造物をはじめとする文化遺産十四件の合計十八件が世界に発信していくことが求められます。

これは九州・山口の製鉄技術と密接な関係があるとされたからで、資産は全世界の大切な宝物になつたということです。これまで国内では、屋久島をはじめとする自然遺産が四件、法隆寺地域の仏教建造物をはじめとする文化遺産十四件の合計十八件が世界に発信していくことが求められます。

これは九州・山口の製鉄技術と密接な関係があるとされたからで、資産は全世界の大切な宝物になつたということです。これまで国内では、屋久島をはじめとする自然遺産が四件、法隆寺地域の仏教建造物をはじめとする文化遺産十四件の合計十八件が世界に発信していくことが求められます。

例えば、幕末の嘉永二年（一八四九）、当時有数の蘭学者であった箕作阮甫は島津齊彬の命を受けて、蒸気船の原理や製造について書かれた蘭書を翻訳し、『水蒸船説略』として出版しました。後に薩摩藩は、在来の技術を応用して船舶用の蒸気機関を造り、安政二年（一八五五）、日本初の蒸気船「雲行丸」を完成させます。八地域が連携して、「西洋世界以外で極めて短期間に近代化を達成した」というストーリーやその背景を世界に発信していくことが求められます。

さて、鹿児島市の資産はこのストーリーの中で「自力による近代化」を証明するものです。すなわち、薩摩藩の近代化は、その優れた在來のモノづくりの技術を駆使して、西洋の近代科学技術を屈することで、自らを侮ることだと、モチベーションを頼っています。

## 鹿児島羅針盤



Profile

株式会社島津興業 取締役  
尚古集成館長

田村 省三氏

1954年、鹿児島県薩摩川内市生まれ。玉川大学文学部卒業。國學院大學文学部日本文学科・儀礼文化所・鹿児島県歴史資料センター黎明館を経て、1999年より尚古集成館館長。この度世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の推薦書作成委員を務めた。現在、鹿児島市文化財審議会会長・志學館大学非常勤講師等。

(主な著書)

『尚古集成館』(春苑堂出版)、

『島津齊彬の挑戦』(共同執筆、尚古集成館)ほか